

初級

短い言葉。まずは正しい指で、ゆっくり打ちます 63字

- | | | |
|----------------|------------|------------|
| 1. 急がば回れ | 2. 時は金なり | 3. 花より団子 |
| 4. 七転び八起き | 5. 継続は力なり | 6. 習うより慣れよ |
| 7. 笑う門には福来る | 8. 石の上にも三年 | 9. 善は急げ |
| 10. 案ずるより産むが易し | | |

中級

短い文。句読点（、。）や変換もいっしょに練習します 106字

1. 塵も積もれば山となる。
2. 千里の道も一歩から。
3. 犬も歩けば棒に当たる。
4. 猿も木から落ちる。
5. 早起きは三文の徳。
6. 好きこそものの上手なれ。
7. 雨降って地固まる。
8. 能ある鷹は爪を隠す。
9. 急いては事を仕損じる。
10. 二兎を追う者は一兎をも得ず。

上級

長めの文章。止まらずに打ち続けることをめざします 333字

1. 「千里の道も一歩から」というように、タイピングも最初の一文字から始まります。きょうは五分だけ、ホームポジションに指を置いてみましょう。
2. 「急がば回れ」は、タイピングの練習にもあてはまります。速く打とうとあせるより、正しい指で打つほうが、結局は早く上手になります。
3. 「習うより慣れよ」とは、人に教わるだけでなく、自分でくり返して身につけなさいという意味です。毎日少しずつ打つことで、指がキーの場所を覚えていきます。
4. 「猿も木から落ちる」のとおり、上手な人でも打ち間違えることはあります。ミスをしたら、あわてずに一文字消して、打ち直せば大丈夫です。
5. 「継続は力なり」。一日十分の練習でも、一か月続ければ三百分になります。小さな積み重ねは、ふり返ったときに大きな力になっています。